

農家民宿をはじめてみませんか

1. 農家民宿とは

農業者が経営する民宿で、農山村での生活体験、農林業体験、郷土料理づくりを楽しんでもうら民宿です。

宿泊者は農山村を訪れ、豊かな自然や美しい景観、美味しい郷土料理を食べ、農村の文化に触れ、人々と交流することで田舎の魅力を味わうことができます。

都市農村交流への関心が高まっている中で、農山村の素朴な魅力が体感できる農家民宿は今、やすらぎやゆとりを体感できる宿として注目されています。また、旅館業法などの規制緩和により既存の住宅を利用した小規模な農家民宿が開業しやすくなっており、農家民宿には特別な施設・設備は必要ありません。現在の家をそのまま利用できます。

2. 農家民宿のすすめ

現在、飯田下伊那では体験型教育旅行（農家民泊）への注目が高まる中で、南信州観光公社を総合窓口として農家民泊で年間1万人を超える修学旅行生を受け入れております。

阿南町でも農家民宿開業者35軒が加わり、小中高等学校の修学旅行生を受け入れております。受入農家の方にはお客様でなく家族の一員として受入れていただき、農家の普段の生活を体験させていただいております。1泊2日の短い時間ですが、家族同様のふれあいを通してお互いに色々な刺激、大きな感動など得るものは大きく、お別れの時には、涙・涙のお別れとなっております。

一人でも多くの子供に阿南町に来ていただき、阿南町の魅力を知り、感動を得てもらいたい。また成人し何年後かに阿南町へ来てもらいたい。また、受入農家の方には子供たちとの交流により刺激、元気をもろう。こんなつながりがさらに増え、町の活性化につながるよう、1軒でも多くの農家の参加をお待ちしております。

3. 農家民泊受入のスケジュール例

1 日 目

13:00頃

阿南町到着（町民体育館前）

各農家の方が迎えに行く。

対面式後に各農家に分散

農作業、農家体験

農家が普段行なっている作業と一緒に説明を加えながら指導してください。

入 浴

公共入浴施設を利用してください。

※自宅浴室を利用の場合は年1回以上の水質検査(10,500円/回)が必要となります。

夕 食

食事は一緒に作ってください。

準備、片付けも一緒に行なってください。

※食品衛生許可を得ていない農家では食事提供ができません。

食材を提供して農家と宿泊者が一緒に調理し飲食する場合、許可は必要ありません。

就 寝

布団の準備等、自分のことは全て自分で行なってもらう。

2 日 目

起 床

布団の片付け等、自分のことは自分で行なってもらう。

朝 食

朝食も夕食同様に一緒に調理、片付けも一緒にしてください。

農作業、農家体験

帰る当日でもあり軽作業、近所の散策でも結構です。

11:00頃

集合場所へ送り（町民体育館前）

お別れ式

4. 農家民宿の計画から開業、受入れまでの流れ

農家民宿の開業について、家族内の合意づくり

- ・農家民宿の開業は家族の協力が不可欠です。



許認可の手続き

- ・信州アトムに相談してください。必要書類、申請書の書き方など相談にのります。
- ・旅館業経営許可取得手数料には 23,000 円が必要となります。
※この手数料には町から 20,000 円の補助金が出ます。
- ・申請後に保健所の現地確認審査を受け、営業許可がおります。



農家民宿開業



阿南町農家民宿連絡会及び信州アトムに入会

- ・農家民泊（修学旅行）は南信州観光公社が総合窓口となり受入をおこない、飯田下伊那の受入農家へ割当てております。
阿南町への割当分については阿南町農家民宿連会の事務局である信州アトムが各受入農家のスケジュールを聞きながら割当をしております。
- ・町内の各受入農家（会員）の情報交換、交流、レベル向上を目的とした研修会



修学旅行生受入

- ・受入期間 5月初旬～10月中旬
- ・各受入農家に1年間の受入予定表を配り、受入可能な日を調べた上で割当をします。
- ・21年度実績 受入農家 30軒（会員農家 35軒）
学校数：21校 受入人数：延べ1,139人 受入軒数：延べ295軒



宿泊料、体験料の支払い

- ・宿泊料 1泊 5,000円
- ・農作業体験料 1回 1,500円（1日目、2日目と体験がある場合は1,500×2回）
- ・前期（7月まで）、後期（最終まで）と2回に分けて反省会の折りに現金で支払います。
※反省会は前期、後期終了後にそれぞれ開催します。
- ・信州アトム手数料として、受入1人につき100円いただきます。